

館長のガラストーク

小谷栄次「ウラン酒瓶 鳥」2014年

この作品は、10月9日と10日に小谷栄次さんが当館の工房で制作したものです。小谷さんの作業の特徴としては、まず、そのスピードが挙げられます。一日目、昼過ぎから手慣らしで始めたぐい呑みや徳利は、どんどん数を増して、夕方には徐冷炉が一杯になりました。

また、金りんの使用も、小谷眞三さんから受け継いだ技法上の特徴といえるでしょう。これまで見てきたスタジオグラス系統の工房では、新聞紙を折りたたんで水で濡らして使う「紙りん」がほとんどで、まれにお玉のような「木りん」が使われる程度でした。栄次さんは手製の型（モール）に吹き込んで模様を付けたものを、油を塗った金りに押し当てて手早く成形します。

今回の「酒瓶」では、まず初日に鳥の付いた栓を作っておいて、二日目に瓶の本体を作ります。厚く巻いたウランガラスを型（モール）に入れて筋目を付け、すこしねじりを入れてから金りんの中で成形します。肩口にガラスの輪っかを巻きつけ、金具で線を入れます。瓶本体は底の方に行くほど厚みを増し、少しねじれた太めの敵がウラン特有の蛍光を強く放っています。

今回の公開制作で制作された小谷栄次さんの作品は、紫外線照明の展示ケースに入れて会場内に展示されます。この機会に是非ご覧ください。



ウラン酒瓶 鳥



金りんを使った作業



小谷栄次さんの作業風景

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

展覧会情報「倉敷ガラスの展開—小谷眞三・小谷栄次の仕事」2014年9月10日(水)～2015年1月19日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

こんにちは 共同作業所ふきのとうです!!

共同作業所ふきのとうは、心の悩みや不調のある方、また社会参加の苦手な方が、作業や参加者同士のふれあいを通じて、社会参加の第一歩をめざしています。お気軽にお立ち寄りください。



“にこにこバザー” 今年も開催!

【日にち】 11月21日(金) 10:00～12:30

【場 所】 介護予防センター

鏡野町古川439-1 (福祉センター敷地内)

陶芸教室・ボランティアあんずの会と協力して開催します。ぜんざい・バザー・作業所作品の販売をします。皆様のご来場をお待ちしています。

ちょこっと
豆知識

秋の夜長、快適睡眠で心も体も元気になろう!

毎日できて、効果の高いストレス解消法が睡眠です。睡眠は脳と体を休ませ、疲労を回復させ、エネルギーを高める役割があります。自分にあった睡眠を上手にとりましょう。

「快適な睡眠のためのポイント」

- ①規則正しい生活リズムを持ちましょう
- ②自分にあった睡眠時間を知りましょう
- ③夕食後のカフェインや寝酒は要注意
- ④寝具や寝室の温度、静けさなど環境を整えよう
- ⑤眠ろうと意気込むのは逆効果、自分なりのリラックス法を(読書・音楽・ストレッチなど)
- ⑥目が覚めたら日光を浴びましょう
- ⑦長い昼寝や夕方の昼寝は避けましょう

【お問い合わせ先】 共同作業所ふきのとう(火・木・金) (0868)54-1132
鏡野町保健福祉課 保健指導推進センター(0868)54-2025